

第18回 春日山原始林保全計画検討委員会 議事要旨

日時：令和7年2月5日（水） 13時30分～16時00分

場所：ならまちセンター 会議室2・3

出席者：委員長 松井 淳
委員※ 鹿取 悦子、柴田 昌三、杉山 拓次、中野 聖子、前迫 ゆり、
山倉 拓夫

オブザーバー 春日大社管理部 藤井参事

事務局 奈良県観光局奈良公園室

関係部局 <<奈良県>> 環境森林部景観・自然環境課
奈良県森林技術センター
観光局奈良公園事務所
地域創造部文化財課

<<関係機関>> 近畿中国森林管理局奈良森林管理事務所
奈良市都市整備部都市計画課
奈良市教育委員会文化財課

※敬称略、五十音

報告 (1) 春日山原始林保全再生事業のこれまでの進捗状況について

議事 (1) 令和6年度 春日山原始林保全再生事業について
(2) 後継樹育成計画の策定について

議事要旨

報告

(1) 春日山原始林保全再生事業のこれまでの進捗状況
これまでの進捗状況について報告し、原案の通り了承された。

議事

- (1) 令和6年度 春日山原始林保全再生事業
令和6年度の保全再生事業について原案の通り了承された。ただし、以下のような意見があった。
- ・植生保護柵モニタリング調査の資料について、植生保護柵内の環境条件や回復の状況、これまでの調査結果のより詳細なデータを示すこと。
 - ・後継樹の育成に関する資料について、育成中の苗木や修復植栽の実施年度ごと、樹種ごとの生育状況をより詳細に記載すること。
 - ・ナラ枯れに関する取組として、穿入被害の有無や個体の生残など、大径木の生育状況を把握するための再調査を今後検討すること。
- (2) 後継樹育成計画の策定について
後継樹育成計画について、委員長預かりとして事務局と調整したうえで策定することと了承された。ただし、以下のような意見があった。
- ・特別天然記念物内における刈り払い等について、適切な用語、表現を用いること。
 - ・計画が目指す目標や考え方、意義について、各項目でも明確に示すこと。
 - ・市民団体や教育機関、研究機関、企業など、多様な主体の参画や協働による後継樹育成の実施体制、マネジメントについて検討すること。
- (3) その他
- ・後継樹の育成に関連して、春日山原始林における重要な植物の域外保全・域外育成について意見があった。